

# 令和元年 **1 1** 月の大阪森林便り

## 目次

### 今月の木の話 「木」の入ったことわざ

- (1)  住宅用製材品 下げ一服 カナダ産、減産で供給細る
- (2)  都市と地方が連携し、森林整備と木材活用の循環を
- (3)  大阪の木材史
- (4)  使い道が分からない 森林環境譲与税
- (5)  北米産丸太が下落 10月積み 対日価格、6か月連続
- (6)  国産集成材、一段と下落 原料材の輸入価格下げで
- (7)  体操競技場 木の香り 東京五輪 木材使用、新設会場で最多



### 今月の木の話 「木」の入ったことわざ

- \*木から落ちた猿（木を離れた猿）：たよる所を失ったもののたとえ。
  - \*木静かならんと欲すれど風止まらず：木が静かになろうと思っても風が止まらない。そのように孝行をしようというときには、既に親が死んでしまって世にいない、親の在世中に孝行せよという戒め。風樹の嘆き。
  - \*木に竹を接ぐ：無理の通らないこと。筋道が通らずしっくりしないさま。
  - \*木で鼻を括る：不愛想にもてなすことのたとえ。対応の仕方に愛想の無い事。
  - \*木にも花にも心置く：些細なことにも警戒しておずおずする。
  - \*木に縁りて魚を求む：方法を誤っては事は成就しないこと。
  - \*木の実は木の本へ：木に生じた果実はその木の根本（元）に落ちることから、物事はすべてその本（元）にかえること。
  - \*木を見て森を見ず：細かい点を注意し過ぎて大きく全体をつかまない。
- （日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用）



#### (1) 住宅用製材品 下げ一服

#### カナダ産、減産で供給細る

- \*カナダ産製材品の日本向け価格の下げが一服。
- ・10~12月期価格は7~9月期に比べ2%高。



- \* 米国向け需要の停滞でカナダのメーカーが減産。
- \* S P F材の値上がりは 2018 年 7~9 月期以来。
- \* S P F 製材品の日本への 1~7 月の輸出は 59 万 m<sup>3</sup> と、前年同期に比べ 2 割以上減。
- \* 日本の 2 X 4 住宅の建築実績は、1~8 月で前年同期比 4.7%減。

### 国内住宅市場に停滞感

- \* 8 月の新設住宅着工件数は、前年同月比 7.1%減。
- \* 戸建て住宅の持ち家の着工は、11 か月ぶりに前年割れ。
- \* 米松 KD 平角製材品は、8 月に値下がり。
- \* 針葉樹合板も、大手メーカーが 5 月に打ち出した値上げが浸透していません。

(2019 年 10 月 3 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) 都市と地方が連携し、森林整備と木材活用の循環を

### 林野庁林政部木材利用課長 長野麻子氏

- \* 我が国の森林資源は、半世紀で人工林は約 6 倍に。
  - ・ 人工林の約半数は林齢 50 年超。
- \* 二酸化炭素吸収量を確保するためにも、木を伐って使い、若い木を植えること。
- \* 森林環境税の徴収は 2024 年度から。年額 1000 円の課税。
- \* 森林環境譲与税は、徴収より前倒しして 2019 年度に導入、9 月から交付。
  - ・ 森林環境譲与税の利用方法は、各自治体がそれぞれの判断のもと活用。
  - ・ 森林整備のための幅広い利用を期待。
- \* 建築基準制度の見直しにより、中層建築物への木材活用などについて規制が合理化。
- \* 2015 年の国連サミットで S D G s (持続可能な開発目標) に 17 の目標が採択。
  - ・ 木材利用は、その多くの目標達成に貢献できるといわれています。
- \* 木材活用したオフィスは、クリエイティブな場づくりやコミュニケーション促進に効果。
- \* わか国は国土の 7 割が森林。

(2019 年 10 月 8 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (3) 大阪の木材史

\*材木市は、元和 8 年（1622 年）に大阪材木商人の要請を受けた土佐藩蔵屋敷が幕府に出願して許可を得たことから始まったといえます。

\*土佐藩蔵屋敷は現在の西区白髪橋付近にあり、白髪橋交差点の一角に「大阪木材市場発祥の地」の石碑が建っています。

\*市売りの開始は、寛永 12 年ごろ（1636 年）といわれます。

\*大阪の材木市では土佐材を {御材木} と唱え、その後、阿波、日向、吉野、新宮の材が材木市に参入するようになります。

（大阪木材仲買協同組合資料より）

### (4) 使い道が分からない 森林環境譲与税

\*本年 4 月 1 日からスタートした森林環境譲与税は令和 3 年度までは約 200 億円、令和 4 年度から約 300 億円、令和 7 年度から約 400 億円、令和 11 年度から約 500 億円、そして令和 15 年度からは約 600 億円譲与される恒久税。

\*令和元年度は大阪市に約 1 億円譲与されます。

\*譲与税の約 8 割は市町村に直接譲与されます。

\*都道府県は、市町村を支援・サポートする目的で譲与税（当初は約 2 割、順次減少）を活用します。

\*森林が存在しない市町村は、森林環境譲与税を活用して都市部に木材を普及・活用。

\*大阪市の窓口は環境局。

\*大阪市では 9 月初旬、各所属予算担当責任者宛てに「森林環境譲与税活用事業の募集」が配布され、2 週間で締め切り。

（2019 年 10 月 20 日 東洋木材新聞記事より抜粋・引用）

### (5) 北米産丸太が下落

#### 10 月積み 対日価格、6 か月連続

\*北米産丸太の対日輸出価格の下落が続いています。

\*10 月積みの交渉は、6 か月連続の引き下げで決着。

\*産地の原木価格は上昇していますが、日本側が競争力を維持するために値下げを要求。

\*船舶燃料の環境規制強化をにらみ、米国からの輸送費は 1~2 割上がる見

通し。

\*競合する欧州産集成材は値下がりが続いており、日本国内のシェアを確保するために値下げが必要と判断。

(2019年10月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (6) 国産集成材、一段と下落 原料材の輸入価格下げで

\*欧州で加工した集成材の輸入価格が下がっていることに加え、原料の挽き板材「ラミナ」の輸入価格が下がり、国産集成材の価格を下押し。

\*住宅の梁に使う集成平角の価格は、前月に比べ5%安。2017年9月以来の安値。

\*集成管柱も2%安。2013年3月以来の安値。

(2019年10月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (7) 体操競技場 木の香り

### 東京五輪 木材使用、新設会場で最多

\*2020年東京五輪・パラリンピックで体操競技とボッチャの競技会場となる有明体操競技場が完成。

\*杉やカラマツなどの国産木材を約2300M3使用し、木材使用量は新設する競技会場で最も多くなります。

\*会場内には木の香りが漂っています。

(2019年10月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

